



本社デリシャス工場

○本社所在地：鹿児島県鹿屋市田崎町725-3

○事業概要：冷凍食品製造業・食肉製品製造業・そうざい製造業・農産物の加工販売

○常時使用する従業員：152名  
(2025年3月時点)

○現在の売上高：28億円 (2025年3月期)

○法人番号：7340001014207

○Web：<https://katorifoods.com>

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

代表取締役社長  
延時 幸子

## 鹿児島県という農畜産物に恵まれた地で最高の食材と、手作業に愛をこめて。

当社の事業は1976年に先代の創業者がひよこを飼うところからその歩みは始まりました。1987年に加工業へ発展させて以来、「オリジナルをオーダーメイドで。」を合言葉にチャレンジを続け、商品開発のご依頼をいただいた取引先様との信頼を築きながら、着実に発展を続けて参りました。

新鮮な食材と手作りにこだわり、美味しいと安心・安全な食品を全国の食卓に提供し、消費者の幸せな食生活を支えるとともに地域農畜産物の消費促進、経済的発展に貢献することを使命としております。

## 売上高100億円実現の目標と課題

## 実現目標

2035年3月期での売上高100億円達成に向けCAGR13%程度の成長を目指す(2025年～2035年)。

- ・ファクトリーオートメーションの促進
- ・オリジナル商品開発による販路拡大・販売力強化

## 課題

- ロボットや機械設備導入による生産性向上
- 技術者の育成、技術承継や作業標準化の促進
- 機械設備の保全活動による稼働効率の改善
- 食材価格高騰による売上高への影響
- 地域の人口減少・過疎に伴う労働者人口の減少

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

## 目指す成長手段

- ファクトリーオートメーションによる生産能力向上
  - ・工場内への積極的なロボットや情報システムの導入を行うことで製造工程の自動化と稼働時間の増加、品質の安定と向上、省力化と人手不足解消により高い生産性を実現する
- 製造商品の高付加価値化
  - ・消費現場のニーズ収集による高付加価値加工品の開発
  - ・直営店舗及びE C販売の販売力強化による売上増加

## 実施体制

- 社内体制
  - ・製造部門と販売部門連係による商品開発、生産計画の立案
  - ・技術承継、人材育成による人的資源の充実
  - ・計画的な保全活動の立案・実行による工場稼働率改善
- 社外連携体制
  - ・品質管理マネジメント規格に準じた経営体制
  - ・外部の資本参加企業による牽制機能、ガバナンスの発揮

## 売上高100億円実現の目標と課題

## □ 具体的措置①：ファクトリーオートメーションの促進

工場内にロボットや情報システムを導入し、製造工程の自動化・省力化を図り生産性の飛躍的な向上を図る。

## □ 具体的措置②：加工作業の標準化

ファクトリーオートメーションの促進に合わせて作業のマニュアル化・標準化を進め、経験の浅い作業者でも生産性の高い作業が可能な体制を構築する。

## □ 具体的措置③：オートメーション化による採用力強化

オートメーション化により作業内容の省力化と軽作業化を図ることで、地域の高齢者の雇用の受け皿となり労働力の安定的な確保を実現する。

## □ 具体的措置④：食材調達力の強化

食材を安定的に調達するため既存の契約生産農家や卸売事業者との連携強化を図るとともに新たな仕入先の確保に取り組む。

## □ 具体的措置⑤：消費者ニーズを反映した新商品開発

消費現場と製造現場の連携強化に取り組み消費者ニーズをダイレクトに反映した販売力が強く相場変動に左右されない新商品開発と販路拡大に取り組む。

## 100億円企業を目指す体制

## 商品開発

オリジナル商品による差別化

- 製造技術研鑽、開発力強化
- 市場ニーズの反映

## 製造能力

生産効率・生産性の向上

- ファクトリーオートメーションによる生産能力向上
- 精緻な生産計画立案・実行

## 販売力

製造委託先・直販店・EC販売

- 大手食品メーカーとの強固な連携
- 直販店、ECサイトの販売力強化

## 人的資源

人材の育成、採用力の強化

- OJTや育成計画による技術承継
- 地域人材の積極的採用

